

# 地域のみなさまへ

早いもので、私たちA J U自立の家が建てようとしている施設に対し、地域のみなさまからの反対の声が届いて、もう1年が流れました。残念ながら、今年度中に建設に取りかかることは難しい状況となっています。が、名古屋市の福祉計画では、施設や病院にいる障害者が地域社会の中で、みなさんと同じように暮らせる社会づくりをめざしています。みなさまのご協力ぜひ実現したいと願っています。

A J U自立の家がめざす障害者自立支援施設について、みなさまにもっと知っていただき、ご理解を得られるよう、今後もチラシや説明会の中でお知らせしていきます。そして、みなさまからのご質問やご意見にお答えしてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

いろいろなお声を届けていただいています。今回は、そのメッセージを紹介させていただきます。

## 賛成の方も、反対の方も

### もっと話し合いませんか！？



福祉施設を 考える会 舟橋 勝

自立の家が私の住む松栄学区に『多機能型の福祉施設』を建設するという。

そんな噂が耳に届いたのは、昨年の夏も終りの頃だった。そのうち、建設予定地周辺の町内の方々が、『施設建設の説明会』において強行に建設反対を主張されたそうです。

そして、建設反対の署名も取り組まれたと聞きました。反対の方に理由をお聞きすると、「アル中の人間がウロウロするから危険でしょ」とか「もしも事件があったらどうするの?」と言われました。

私は、それらの不安があることはよく理解できます。でも、障害者の方々の社会復帰を支える施設は必要だと思います。

説明会では「山の中につくれ!」といった意見もあったそうですが、施設は人との関わりが多く、ボランティアの確保ができる市街地につくるのが大切だと思います。

市街地にあることで家族の見舞いも容易になり、障害者が孤立することもなくなります。これこそが高齢化社会にふさわしい『21世紀型の

福祉施設』だと思います。そういう意味では、自立の家が計画した施設は時代の要請に合っていると、思います。だから、名古屋市も多額の補助金を計上し、市議員もそれに賛成したのだと思いたすがいかがでしょうか。

「福祉施設は反対でないが、自分の町内に建つのは不安だな」と多くの人が言われます。そうであれば、自らの「不安」を解消するため『安全で安心な施設づくり』を目指して名古屋市と話し合い、お互い知恵を出すことが必要だと思いますがいかがでしょうか。

おおいに話し合い、皆さんが安心できる『福祉施設』を模索しませんか。

最後ですが、御器所学区のある町内には『建設絶対反対』のステッカーが自立ちますが、「意見表明」手段であることはわかります。

しかし、町内に住む障害者、自立の家に通う障害者の方々の気持ちは、いかにばかりでしょうか。もうすこし違った表現方法はないでしょうか。ご検討いただけることをお願い致します。

# 説明会だより

1月18日(金)午後7時より、恵方町カトリック教会にて、名古屋市とAJU自立の家による説明会が開かれました。その経緯や説明会の様子をお知らせいたします。

とても寒い夜でしたが、御器所学区・松栄学区地域に住まわれる方が10名、障害当事者が7名、教会の方3名と、名古屋市障害者支援課から秋山課長、熊沢主幹、木村係長、浦山主査の4名およびAJU自立の家3名を含む30余名の集まりでした。

今回の説明会では、いろいろな立場の方が参加してくださいました。精神障害の当事者や町内で反対署名を集めた人、町内で反対の人の声を聞くがよくわからないから詳しく知りたいという人、日常生活の中で精神障害のある人を支えている人、建設賛成の人など、率直な意見が多くありました。

## ▶ はじめに - 説明会開催の経緯について

「地域の反対の人の声とAJUの説明に乖離がある」「正しく知りたい」などの地域の方からの声があり、松栄学区に住まわれる方からの希望で、名古屋市とAJU双方からの説明を聞きたいとのことで、説明会開催のはこびとなりました。

これまでの説明会同様、名古屋市作成の資料により、秋山課長より施設概要と、名古屋市の障害者基本計画や障害福祉計画にもとづいて「こうした施設は必要なので、必ず作ります」という説明がありました。

そしてAJUの山田より、障害者が施設へ収容された時代の話、障害者の働く場の現状、AJUが取り組んだアルコール依存症支援施設づくりの経過、自立支援法の施行により精神障害者への支援を含めた施設づくり、昨年2月から始まった地域の反対運動などを説明しました。



## ▶ 参加の方々からのご発言やご意見

### 《障害当事者から》

「自分は精神障害の当事者です」の自己紹介とともに、「治療と支援機関があれば、みなさんと同じような生活ができる」ということを4人の方が次々と語られました。また、統合失調症やそううつ病などについても実体験をもとに説明されました。

・統合失調症は100人に1人いる。うつ病は一生の内に5人に1人はかかると言われるくらい身近な存在であることをわかってほしい。

・10年20年、病氣と長くつきあっている。

・精神障害はきちんと治療すれば、他人に害を与えるものではなく、むしろ自分をいじめてしまう障害。

・薬を服用しながら、仲間と語り合う場があれば、心を安定させることができる。

・住民の人たち、周りの人たちから手をさしのべてほしい。

・精神の人は、接してもらえばわかる。みんな普通の人で、どこにでもいる人。

### 《松栄学区・御器所学区の方々から》

・施設ができることを聞いて、はじめは関心がなかった。反対の人の声が聞こえてきて、なぜ反対かわからなかった。4800の反対署名で市に圧力をかけたのはおかしいと思った。

・AJUがあることで、メリットもあると思う。町の人々が障害者に優しく接しているのを子どもたちもみているので、その子たちはやさしくなれる。

・多機能型施設を市街地に作ることは大事であり、名古屋市の考えにも大賛成。

・一部の町内が反対といっているが、他の町内の人々は施設建設のことすら知らない。それを市が反対し

ているととらえるのは正しくないと思う。反対署名もきわめて強引にとっているとなんかの人からも聞いている。



・反対署名について町内役員から頼まれて断れずに集めた。「よくわからんけど集めてくれ」と言われた。3分の1から4分の1の人が署名した。

・集めに行った先で、「障害者なんて関係ないと思っているかもしれないが、年を取れば誰でも体が不自由になる」「自分たちの問題と考えたら反対運動できないはず」と言われ、恥ずかしかった。

・家族から「反対署名集めるなんてとんでもない」と言われた。

・AJUへも行ったことないし知らないことばかり。理解する場をあちこちで開いてほしい。交流する場を作ることが必要。

・自分は賛成だが、反対意見も聞いた上で冷静に判断したい。予算執行についても聞きたい。

・近所のひとり暮らしで精神障害を持つ人を支えているが、この先が心配。市の政策はとても大事なので、ぜひ進めてほしい。

・組長をする家族が反対署名に自分の名を書いた。上から言われたかららしい。自分は賛成署名した。

・理解が深められるように一緒になって、障害者が困っていたら町内の人々が声をかけられるように、いろんな場を作ってもらいたい。

・地域の方は「施設があるから安全」では、納得しない。住民はどういう人が来るかわからないので、利用者の状況をもっと詳しく説明しないといけない。今日参加した当事者も一緒に説明するなどの工夫が必要。

・正論で言われると逆に感情的になってしまう恐れがあります。疑問の一つひとつ答えることが必要。

・きめ細かく説明していくことで、建設に理解が得られると思う。

➤ 会場の方から名古屋市への質問とお願い

「福祉施設を考える会」が主催する説明会や、賛成の人も反対の人も真摯に話し合う場があったら、名古屋市も来てくれるか？

賛成署名約6000は、地域の了解が得られたのではないかと。附帯決議はあるが、予算執行を速やかにできるか？

全国にも反対運動は結構あるはず。行政が積極的に対応した事例や、住民の理解を得た運動等の経験を教えてほしい

1.6億円の予算は、単年度予算だと思うが、3月末を迎えると執行はどうなるのか。予算を流すとしたらとんでもないと思う。課長の「市としては実行していく」旨の発言、心強く思う。

こういう施設を作るためにより一層がんばってほしい。

➤ 名古屋市からの回答

・説明会の場には、市は必ず出席します。  
・予算執行については、現実問題、この時期としては、19年度予算執行はむずかしい。たぶんでできない。申し訳ない。市としては、あきらめたわけではない。いろんな場を作って賛成してもらえらる輪を上げていきたい。

・叱咤激励と受け止めて、努力が足らず、これからもいろいろと後押しいただきながらやっていきたい。



➤ 最後にAJUより

率直で、貴重なご意見たくさんありがとうございました。

今後も賛成の人も反対の人も一緒に議論できる場を持ちたいと思います。参加して下さった精神障害者のみなさんもどうか応援してください。

(文責：AJU自立の家)

みぢかひといのちまも  
身近な人の命を守るために



**AED**  
Automated External Defibrillator

## と救急救命セミナーについて

「AEDと救急救命セミナー」開催のお知らせです。AEDはすぐ近くであって、使えるようになることで、人命を寸前のところで救うことができます。AJUでもこのたびAEDを設置いたしました。このセミナーはAEDを地域住民の方に広く知っていただくとともに、相互援助の精神のもとに、いざという時のためにその使用方法と救急救命の基礎を地域住民の方とともにマスターしようと呼びかけるものです。

日時 平成20年3月8日(土) 13:00~16:30  
場所 カトリック恵方町教会ホール 名古屋市昭和区恵方町2-15  
参加費 無料  
定員 15名(定員になり次第締めさせていただきます)

今回は消防署より人体の模型を使用して講習を行うため人数に制限があります。

ぜひお早めにお申し込みください。また、今後もセミナーを続けてまいります。

主催 福祉施設を考える会、社会福祉法人AJU自立の家  
後援 御器所消防団、昭和区役所、昭和区社会福祉協議会

お申し込みおよび問い合わせ先

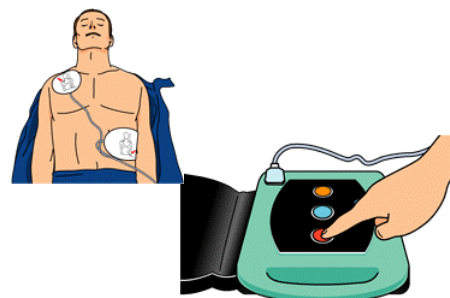
社会福祉法人AJU自立の家 AEDセミナー実行委員会 担当：鬼頭義徳  
TEL 052-841-6677 FAX 052-841-6622 kito@aju-cil.com

電源を入れる

電極パッドを傷病者の胸部に貼る

AEDが自動的に傷病者の心電図を解析する

AEDから除細動の指示が出たら、除細動ボタンを押す



## 今後も施設説明会を開催します

AJU自立の家では、多機能型施設とはどんな施設かについて、今後も名古屋市と協力しながら説明会を開催していきます。日時などはおってお知らせいたします。

施設建設を求め署名した方も、施設反対の署名をされた方も、ぜひ参加していただき、どんな施設か、どんな人が利用するか、何のための施設か等々について、判断をしていただければと、AJU自立の家は願っています。あなたの参加をお待ちしております。

社会福祉法人AJU自立の家

常務理事 山田昭義

施設準備室 鬼頭義徳、小山秀隆

名古屋市昭和区恵方町2-15

TEL 841-5554

FAX 841-2221

info@aju-cil.com

おまちしております。



今後もさまざまな形でみなさんの疑問の声に答えていきます。

電話、ファックス、メールなどで、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。